



原点は「どんな財宝より子どもは何よりも尊い宝」

まもなく令和元年度が終わります。終わり間際の新型コロナウイルス感染症拡大で学校も生活も大きく制限しなくてはならない状況になりました。感染に気を付け、新年度を迎えたいものです。

例年ですと、第2回運営協議会が開かれ、まとめと課題について検討するのですがこのような状況でしたのでできませんでした。個々にいただいた意見等をもとに1年間のまとめをしたいと思います。

富士河口湖町教育長 渡辺政孝
教育センターは多くの役割を担っています。その中でも、学校に行けない子を支え、居場所を作っています。自分に向き合い、心の開放をしていく中で前向きに取り組む姿が見られます。今後も子どもたちのために取り組むことを望んでいます。

教育センターは重要な役割を担い、何を行うことが児童・生徒にとって必要かを大前提として、富士河口湖町の教育課題や学校のニーズに応えた事業を行ってきています。

研修については、今年度新たに教育実践研究家の菊池省三先生を町教育センター特別アドバイザーとして招聘し、町立小中学校全10校に1日ずつ訪問していただき、授業観察や師範授業、研究会への参加、教職員や保護者、地域の方向けの講演会等を行っていただきました。『ほ

めて・認めて・励ます教育』が浸透してきていることを感じます。講演会も大変好評でした。

新指導要領が来年度から実際され、教育も変わっていきます。また、教職員の若返りも急速に進みます。今後、研修がさらに必要になってきます。

教育相談については、今年度は右の表のように多くの児童生徒保護者が利用しました。来所してたくさんのお話を聞いていく子、黙々と学習する子、レクや手芸などでリラックスする子など様々ですが、エネルギーを蓄えているのを感じます。在籍学校の先生方も来所し、様々な形で支えてくださっています。県が運営していた教育相談施設(富士東部教育事務所管内では都留コスモス教室)は今年度で閉鎖となり、各自治体でそのような役割を担うことになっています。町では、15年も前から設置されており、今後もその役割を担っていきます。

相談件数(令和元年度)		
	実数	延べ
電話相談	9	9
来所相談	126	698
訪問相談	51	63
総相談件数	186	770

そのほかに、小学校5、6年に導入される外国語科については本町では先行実施し、3名の英語教育支援スタッフが配置され、町内全ての小学校で指導しました。視聴する力が伸び、英語で表現することの戸惑いが減り、自ら積極的に話すようになるとともに教員の指導力も高まってきています。富士山学習についても専門機関との連携が進み、内容が充実してきています。



梶原憲十郎先生 書

当センターは17名からなる運営協議会の皆様はじめ多くの方々に支えられ活動できています。今後も「何よりも子どもが大切」という思いで活動していきます。

蔵寶(ぞうほう)

「どんな財宝より子どもは何よりも尊い宝」

という意味で揮ごうされたと聞いています。教育センターの壁に掲げられ、ずっと、ずっと子どもたちだけでなく、来訪者・この教育センターを見守ってきています。

1年間ありがとうございました

センター長(小河原徳博)

町教育センターでは、何を行うことが児童・生徒にとって必要かを大前提とし、関係機関との連携を密にしながら活動を行ってきました。学習体験プログラムの実施、学校生活に馴染めない子どもたちへの居場所作り・学習支援・学校復帰に向けた支援、保護者の皆さんの教育相談、町内教職員の資質向上を目指す教職員研修や調査研究等に取り組んできました。

富士河口湖町の児童・生徒、保護者やご家族の皆さん、先生方のニーズに応えた事業を行い、気軽に活用していただける教育センターを目指していきます。

英語教育支援スタッフ(八色正代, 奥真理, 渡辺真祐子)

昨年同様、5・6年生に週2回先行実施の外国語科支援をさせていただきました。6年生は2年目で、5年生は前年に年間35回の外国語活動の授業がありました。昨年以上に児童らは、長めの英語も集中して視聴でき、得られる情報も増えました。状況に応じて、思考して、知っている表現を使って、伝えようとしています。やり取りや発表も臆せず、笑顔でしています。

この2年間の先行実施で得られた成果は今後の課題や反省も含めて大きく、授業者や児童にとっても有意義だったと思います。学級担任のおかげで、温かい信頼関係があるので、安心して授業ができました。柔軟に対応してくださった学級担任と職員の皆様に心から感謝しております。

教育相談員(渡辺徳市, 山口真澄)

子どもたちや親御さんとかかわってきました。相談、学習、活動を通して、話を丁寧に聞き、気持ちに寄り添いながら子どものエネルギーがたまるように、子どもの選択や行動を尊重するように、一緒になって取り組んできました。その歩みは小さなものかもしれませんが、前向きに取り組む子どもたちの姿には確かな成長を感じました。

温かく見守ってくださった保護者の方々のご理解とご協力に感謝いたします。微力な私たちでしたが、この1年間ありがとうございました。

教育支援スタッフ(渡辺富美夫)

町内全ての小学校と中学校1校に派遣させていただき、体験学習プログラムでも子どもたちと様々な学習をしてきました。多くの子どもたちと出会い、たくさんの感動をいただきました。すばらしい出会いに感謝いたします。また、温かく迎えてくださった学校職員のご理解ご協力にも感謝いたします。

本年度の教育センターの事業が充実したのになりましたのも、保護者の皆様、町当局、学校、関係機関等のご理解とご協力があつたからです。改めて感謝するとともに、次年度も引き続き、その責務を果たせるようがんばっていきたいと思います。ありがとうございました。

小学校6年生・中学校3年生のみならず
御卒業おめでとうございます。

保護者の皆様に、心からお祝い申し上げます。

「子どもがいたから頑張れた。子どもとともに自分は成長できた」こんな思いはありませんか。

卒業というのは寂しさとうれしさが混ざり、複雑な気持ちになります。でも、子どもの成長とともに大人も一緒に成長させられたということも忘れてはなりません。これは、大きな喜びです。これまで立派に我が子を育ててきた保護者の皆様と卒業生の皆様の御多幸と御健康を心からお祈り申し上げます。

わたしに会えてよかった
胸の鼓動も ときめきも わたしがいて気づいた
だれも知らない音だけ
私の殻をやぶる音 今日からはじまる
何かいいこと

高村もと子「今日からはじまる」より